



▲物販施設を増設して、飲食スペースも拡大。大勢の人でにぎわう



道の駅3周年記念イベント
盛大に開催!



▲イベントを市民団体が踊りで盛り上げ。小浜版「恋するフォーチュンクッキー」のダンスには100人以上が参加(和久里・3月16日)



親子で楽しむバルーンアート

▲1年間の成果を発表する講座発表会。バルーンアートのコーナーで楽しく遊ぶ親子ら(働く婦人の家・3月9日)



ため池で生き物調査

▲「スプリングフェスタ in 加斗」が初開催。住民ら100人が参加して地区内のため池で自然教室などを体験(飯盛・3月2日)



鳥獣被害対策を評価

▲実施隊の立ち上げなど市の鳥獣被害対策に対して、北陸農政局から優良活動表彰。自治体としては県内初(庁舎・3月12日)



水も米もオール中名国

▲中名田地区の住民が製造を進めてきた地酒「田村のめぐみ」が完成。酒造会社で初しぼり(木崎・2月19日)

4 | 2014
April

ニュース
フォトNews

3/5 伝統継承へ 面づくり



西方寺(和久里)で6年に1度奉納される伝統行事「和久里壬生狂言」が4月11日(金)～13日(日)に行われます。今年は、区の青壮年グループ「甚六会」の有志10人が、出演する狂言で使う面を、約30年振りに新しく制作。週3日ほど、夜にメンバーの自宅に集まり、木材を顔の形に彫ったり、色付けを行ったり、面の完成を目指しています。

3/6 究極のへしこづくりを学ぶ



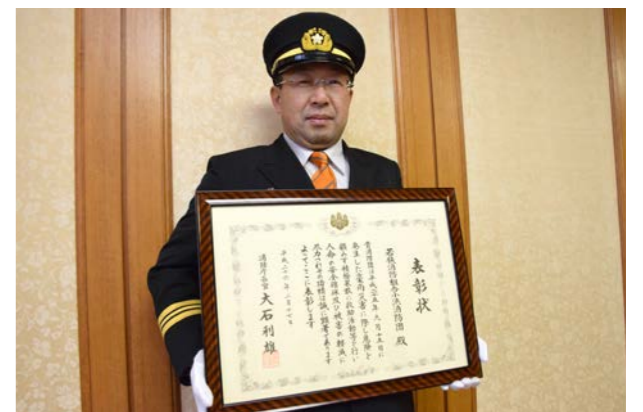
おばま観光局が「究極のへしこ」講座を四季菜館(和久里)で開催しました。へしこの加工技術に関する研究をしている「へしこ博士」の小坂康之さんが講師を務め、へしこのうま味を出す昔ながらの製法を講義。後半の実習では参加者全員が鯖を背開きし、塩漬けをしました。1週間後の13日(土)には糠漬けの実習が行われました。

2/28 イタリア・ミラノ万博に意欲



平成27年に開催される「食」をテーマにしたミラノ国際博覧会を前に、「世界に貢献する日本の食と農」と題したシンポジウムが東京で行われました。同博覧会への出展を予定している小浜市からは、松崎市長がパネリストとして出席。生涯食育の取り組みなどを紹介しながら、「小浜の魅力の世界に伝えたい」と意欲を示しました。

2/19 地域の防災活動に功労表彰



2月17日(日)に、若狭消防組合小浜消防団が消防庁長官表彰を受けました。小浜消防団は、昨年9月に発生した台風18号による豪雨被害に際して、水防活動(延べ出場人数648人)を行い、人命の安全確保および被害の軽減に尽力したことが評価されました。この日は、竹中消防団長が、市庁舎を訪れ、松崎市長に表彰の報告を行いました。